



• 極寒の遊楽所で作りはじめた「ゆいっことり」



• 11月の家の  
松家至車輔さんの絵  
をモチーフにした小物たち

• 展の布・川井ヨシ 京都市左京区岡崎東福川町24



# 5年東北の手わざ展

2016 9/7(水)~9/11(日)  
11:00~18:00 (最終日17:00)

## 忘れてへんよ!

あの3/11から5年半が経ちました。  
防波堤や盛り土、そして高速道路など  
巨大土木事業が進む一方で、その一  
住みあたりの辛苦を思いやるを  
えません。そんな中も素晴らしい  
フラット作品を作っている人々  
がいます。京都25回目と今年  
手わざ展です。作り手の心意気を  
感じにみれば「お疲れ下さい」

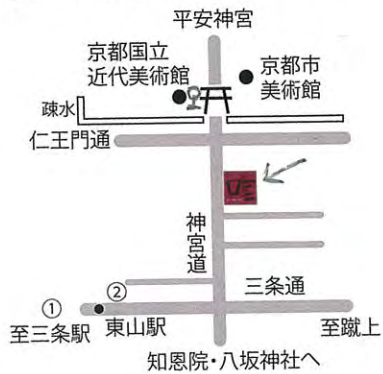


• 今年の3月11日午後2時46分  
手をつなぐ祈る田舎の人たち  
京都新聞より



• 手わざ展常連の仲良し三人組

at ギャラリー-0 唯  
075-752-0348  
② バス停 西崎公園美術館・平安神宮前  
京都市バス5,100系統で  
② 地下鉄東西線 東山駅 徒歩5分  
① 京阪三条駅 徒歩15分



shake Hand Project



のぞみ福祉作業所・南三陸  
津波により仲間二人の尊い命を失なはれた  
今は仮設の作業所で頑張っているお母さん  
1960年の利根川地震に子津波で南三陸  
は41名もの犠牲者が出ました。ゆがみかけ  
てフリとの交差点が崩れ、利根川がモアイ像の  
や、2米子。モアイがデザインされたフラットの  
幅あります。



結

光

ゆいとり工房・田老町

大津波後・極寒の避難所で、身寄り  
 添いながら始まった作り手会。その後、仮設  
 店舗を借り「ゆいとり工房」として、高い  
 クラフト作品を作り出すために、  
 五年半を経た今、仮設に住みも減り、  
 工房に集うメンバーも少なくなってきた。  
 この「結ゆい」の行方が、良い方向に行けば  
 よう。皆さんの力をお願いいたします。



おうちおばちゃんくらぶ・大槌町

岩手でも被害が大きいこの町で、仮設に  
 おばちゃんたちは金と糸と手で作る作品を  
 作って来ます。ADUとの共同作業で、  
 テーマにした Shaketand Project や  
 制作ほど大槌に根ざしたクラフト作りを  
 続ける。



ハナミズキ

みちの

祈り

ハナミズキの道の会・陸前高田

失われた、かけがえのない命から届いた  
 メッセージが美しい絵本となりました。  
 文・淺沼ミキ子 絵・黒井健  
 みはこみどり社謹んで自注の絵本です。



バックの家・田野畑村

大津波で大きな被害を受けたつても、素晴らしい作品を創り  
 続けている。しょうがいがある人たちが集う共同作業所です。  
 完成度の高い裂縫バックのほか、最近では松家至輔さんの  
 美しい絵を ADU(アティザンユニット)の協力で、7つの作品  
 を評判  
 です。



主催・風の布110ピヨン 共催・ギャリ-唯  
 後援・三法然院・ADU(アティザンユニット)  
 東北の新社展実行子-ム  
 風の布110ピヨン・世田谷  
 お問い合わせ 090-6674-8082  
 サイトまで